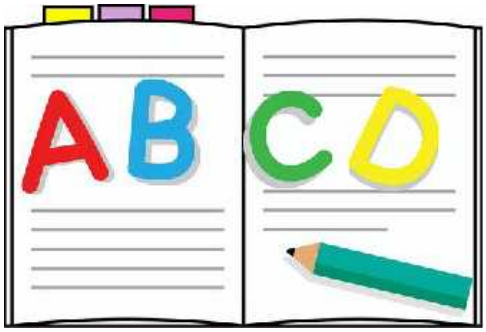
塾生の皆様へ、塾長メッセージです		2023 年 4 月 27 日（木）

英語の学校教科書・開倫塾テキスト・模擬試験問題・英検問題などを用いた「復習」と「定着」で、「短期間」で「英語力大幅アップ」を実現しよう！！

開倫塾
塾長　林明夫

Ｑ１：短期間で、「英語力大幅アップ」を実現するには、どうしたらよいでしょうか。教えてください。



Ａ　：「学校の教科書、開倫塾のテキスト、模擬試験問題、英検問題など、2023 年に入ってから、学校や開倫塾、自学自習で、一度学んだ、すべての英語の教科書や問題」を用いて、一つずつ、もう一度、このゴールデンウィークから、「復習」し「定着」を図ることです。

Ｑ２：どのように「復習」や「定着」を実行したらよいのですか。

Ａ　：＜例えば「英語の学校教科書」ならどうするか＞

（１）今学んでいる「英語の教科書」を「1 課」から順番に、ていねいに、ていねいに、次のように、「復習」「定着」をはかることです。

（２）①まずは、教科書の、「第 1 課」の「1 ページ」を、声を出して、１～３回、ゆっくり読んでみる。

②読んでいて、意味の分からない「語句」や、読み方（発音の仕方）の分からない「語句」を見つけ、

③「気持ちが悪い」と考え、「印」をつけておく。

（３）①次に、「英語の辞書」と、「意味調べノート」を用意して、

②「意味の分からない語句」「読み方（発音の仕方）の分からない語句」の「意味」「読み方（発音)」を「辞書」で調べることです。

③「辞書」で調べた「意味」、「発音記号」を「意味調べノート」に「書き写す」こと。

（４）「意味調べノート」には、「教科書～課、～ページ」、

①「調べた語句」

②「発音記号」

③「語句の意味」を、必ず、「書き写す」。

○「一語、書き写したら、その場で、その語句の、音読練習、書き取り練習をして、スラスラ読めるまでにする、正確に書けるまでにする」ことです。

Ｑ３：このようにして、1ページ分の、「意味調べ」「読み方（発音の仕方）」を、「辞書」で調べ、「辞書で調べたこと（発音記号と語句の意味）」を「意味調べノートに書き写し」、1ペー分の「意味調べ」「発音調べ」を終了したらどうしたらよいのですか。

Ａ　：（１）「意味調べ」「発音記号」調べを終え、そのページの全ての語句の「意味」と「発音」を「理解」し、「スラスラ読める」「正確に書ける」ようになったら、次に行うことはただ一つ。

（２）①第１課の最初のページを、ひたすら、大きな声を出して読むこと、「音読」です。

②１回だけでなく、何回も何回も、スラスラよく読めるようになるまで、「音読練習」をすることです。

③そして、何も見ないで、１行目から、最後の行まで、スラスラ、いえるまでにする（「暗唱」する）ことです。

（３）①「意味と発音を辞書で調べ」、

②「意味調べノートに書き写し」その場で覚え、

③スラスラよく読めるまで「音読練習」をして、

（４）①何も見ないでいえるまで、「暗唱」できるまでにする。

②そのページで、書くのが難しい語句や文章は、「書き取り練習」。

③「書き取り練習」を終えたら、何も見ないで、１ページ分「書いてみる」。書けるまでにする、これを「暗記」といいます。

○これで、学校の教科書の第１課、第１ページの勉強はおしまいです。

（５）①ただし、次の日に、第１課の２ページ目を勉強する時には、「最初」に、必ず、第１課の１ページ目を、大きな声で音読練習、「意味調べノート」の第１課の分を、大きな声で音読練習すること。

②３日目には、「最初」に、それまで学んだ教科書と、「意味調べノート」１ページから、音読練習。

③４日目、５日目も、最初に、それまで学んだ、教科書と「意味調べノート」を１ページ目から音読練習。

⑤これを繰り返し、最後のページまで、学び続ける。

○これが、教科書を一冊、まるまる、全部覚える、一番確実な、勉強の仕方です。誰でも、定期試験で、100点が取れますよ。

Ｑ４：次はどうすればよいのですか。

Ａ　：（１）１学期の定期試験の出題範囲まで、１ページずつ、ていねいに、「復習」「定着」。

（２）まだ習っていないところは「予習」この、「予習」の段階でも

①「意味調べ（意味調べノート）」。

②「音読練習（暗唱）」

③「書き取り練習（暗記）」

（３）ていねいに、ていねいに行ってください。

Ｑ５：学校の教科書以外は、どうしたらよいのですか、

Ａ　：（１）「学校の教科書」と、全く同じように、

①「開倫塾のテキスト」

②「以前、受験した模擬試験の問題」

③「一度解いたことのある英検の問題」

も、学ぶことです。

（２）＜具体的には・・・＞

① 1 ページずつ、1 問ずつ、本文・問題文・選択肢の英語・英文のすべてを、「必ず」声を出して「音読」すること。

②意味や発音がよくわからない語句は、「気持ちが悪い」と思い、「必ず」、「辞書、を用いて「意味と発音記号」を調べること。

③「意味調べノート」に、語句の「意味」と「発音記号」の両方を書き写すこと。

④その場で、書き写した語句の、「音読練習」、「書き取り練習」をし、しっかり覚えることが重要です。

（３）①「学校教科書」と同じように、

②「学校問題集」や、

③「開倫塾テキスト・教材」も、

「1 ページ分」ずつ、「問題集」や「模擬試験」「英検」の問題も、「1 回分」ずつ、ていねいに、学び続ける。

Ｑ６：最後に一言どうぞ。

Ａ　：（１）まとめです。大事なことは、

①「意味・発音記号」を調べ「意味調べノートに書き写し、その場で全部覚える」

②「音読練習（暗唱）」

③「書き取り練習（暗記）」

（２）それから、教科書、問題集、参考書などは、いつも 1 ページ目から、今日勉強するところまで、「音読練習」をすると、今まで学んだことを忘れることがありません。全部、しっかり、覚えることができます。

（３）「入試の過去問」や「英検の過去問」「TOEIC の過去問」なども、これと全く同じように、勉強すれば、必ず相当の「英語力」「英語得点力」が身に着きます。

2023 年 4 月 27 日（木）